



英語のジョーク宅配便

Vol. 29 October 13, 2010

OUR MISSION STATEMENT

「人を知る最善の方法は、苦しい仕事を一緒にすることと、ジョークを言うこと」と言います。これを「英語で発信」というのが本紙の使命で、受動から能動への一歩です。「英語のジョークを楽しむ会」が活動領域をさらに広げようという試みです。

地球の一体化が益々進む時代、「英語でジョークを」は、新しい意義を加えるでしょう。

英語のジョークを楽しむ会 代表・宮本倫好

- 本紙は原則として、毎週水曜日に発行します。
- 執筆者は右の本会会員です。相原悦夫、安藤雅彦、岡田茂富、土屋政雄、豊田一男

■ □ 本日のお届け品：「やりました。次は？」

Two hunters are out in the woods when one of them collapses.

He doesn't seem to be breathing and his eyes are glazed.

The other guy whips out his phone and calls 911.

“My friend is dead! What can I do?” he gasps into the phone.

“Calm down. I can help,” says the operator. “First, let's make sure he's really dead.”

There is a silence, then a shot is heard.

Back on the phone, the guy says, “OK, now what?”



【語句】

- ・ 911：警察・火災・救急の電話番号
- ・ make sure：確認する

【笑いのツボ】

いくら “make sure” と言われたからって、そんな……。

- 担当は土屋政雄でした。